

京奈和自動車道「大和北道路」に関するアンケート調査結果概要 (一次集計結果)

実施概要

対象者：奈良市・大和郡山市を中心とした奈良県、京都府・和歌山県の京奈和自動車道沿線市町及び大阪府にお住まいの方

配布数：5,400 有効回収数：4,070 (回収率約75%)

実施期間：平成15年3月8日～4月16日

結果の概要

奈良県北部地域の道路交通事情について

渋滞について

- ・回答者の72%が「渋滞がある」と感じている。
- ・ただし、エリアによって傾向は異なる。

「かなり渋滞があると思う」 36%、「渋滞があると思う」 36%
「渋滞はないと思う」 1%、「あまり渋滞はないと思う」 5%

生活道路を抜け道として利用していることについて

- ・回答者の74%が「問題がある」と感じている。
- ・ただし、エリアによって傾向は異なる。

「かなり問題があると思う」 31%、「問題があると思う」 43%
「問題はないと思う」 1%、「あまり問題はないと思う」 6%

幹線道路周辺の生活環境（大気汚染、騒音など）について

- ・回答者の75%が「問題がある」と感じている。
- ・ただし、エリアによって傾向は異なる。

「かなり問題があると思う」 27%、「問題があると思う」 48%
「問題はないと思う」 1%、「あまり問題はないと思う」 8%

道路整備の必要性について

- ・回答者の79%が「道路整備が必要である」と感じている。
- ・回答者の76%が高速道路網につながる自動車専用道路を、87%が国道や県道などの幹線道路を、66%が住宅周辺の道路整備を必要と感じている。
- ・ただし、エリアによって傾向は異なる。

道路整備について、	「必要と思う」	50%	「やや必要と思う」	29%
	「必要と思わない」	8%	「あまり必要と思わない」	12%
自動車専用道路について、	「必要と思う」	45%	「やや必要と思う」	31%
	「必要と思わない」	5%	「あまり必要と思わない」	16%
幹線道路について、	「必要と思う」	55%	「やや必要と思う」	32%
	「必要と思わない」	2%	「あまり必要と思わない」	8%
住宅周辺の道路について、	「必要と思う」	31%	「やや必要と思う」	35%
	「必要と思わない」	6%	「あまり必要と思わない」	25%

大和北道路の認知度について

- ・回答者の63%が、「よく知っている」「だいたい知っている」あるいは「聞いたことがある」としている。
- ・ただし、エリアによって傾向は異なる。

「よく知っている」 7%、「だいたい知っている」25%、「聞いた事がある」31%
「知らない」 36%

大和北道路について

期待される効果について

- ・すべての項目について、回答者の65%以上が「重要」、「やや重要」と感じている。
- ・事項別に見ると、幹線道路の混雑が緩和(81%)、災害時の代替経路を確保(80%)、急ぎの用事のために早く移動(77%)、目的地へ予定時間に到着(76%)の順に高くなっている。
- ・ただし、エリアによって傾向は異なる。

配慮すべき事項について

- ・すべての項目について、回答者の70%以上が「重要」、「やや重要」と感じている。
- ・事項別に見ると、沿道地域の環境対策(89%)、生活環境の保全(86%)、自然環境の保全(85%)、交通流の適正化(85%)の順に高くなっている。
- ・ただし、エリアによって傾向は異なる。

京奈和自動車道「大和北道路」に関するアンケート調査 調査結果（一次集計結果）について

大和北道路有識者委員会では、大和北道路について、計画づくりの初期の段階から、情報を広く公開した上で、関係する自治体や地域住民の方々など方面の人々に対し、アンケート調査など多様な手段で意向を把握し、これらを計画づくりに反映する道路計画プロセス（PIプロセス）を導入し、検討を進めております。

今回、アンケート調査を、平成15年3月8日から奈良市、大和郡山市、奈良県内の京奈和自動車道沿線市町、その他奈良県、京都府南部地域、大阪府全域、和歌山県北部地域にお住まいの方、5,400人を対象に実施、4,166人の方々にご協力を得られ、有効回答数4,070となっております。

調査概要及び調査結果は以下のとおりです。

調査概要

<実施期間>

- ・平成15年3月8日～4月16日

<調査対象エリア等>

- ・大和北道路の計画エリアで、直接影響を受ける奈良市、大和郡山市を中心に、奈良県内の京奈和自動車道の沿線市町（天理市、橿原市、五條市、大和高田市、御所市、川西町、三宅町、田原本町）にアンケートを多く設定
- ・また、広域的な範囲（奈良県全域、京都府南部地域、大阪府全域、和歌山県北部地域）についても、客観的な意向を把握出来るようにアンケート数を設定

<調査対象>

- ・20歳以上

<調査方法>

- ・訪問留置方法（調査員が調査対象者の自宅を訪問し、調査票を留置し、数日後に再訪問し調査票を回収する方法）

<抽出方法>

- ・住民基本台帳より各種世論調査で一般に用いられている公正で偏りのない抽出方法（層化二段無作為抽出法）によって抽出

<調査対象者の抽出>

- ・奈良市、大和郡山市域については、奈良県が一般的に行っている世論調査等の抽出率1/200を用い、住民数に対して抽出（1,800人）
- ・その他奈良県の市町村は、の対象者数と同じになるように抽出（1,800人）
- ・京都府南部地域、大阪府、和歌山県北部地域は、の1/3を各地域において抽出（3×600人）
- ・合計で、5,400人の方々に対してアンケート調査を実施

- ・ 上記方法により5つのエリアを設定
 - a. 奈良市・大和郡山市
 - b. その他奈良県
 - a. 以外の奈良県（天理市、川西町、三宅町、田原本町、橿原市、大和高田市、御所市、五條市、桜井市、生駒市、香芝市、月ヶ瀬村、都祁村、山添村、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、大宇陀町、菟田野町、榛原町、室生村、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村、新庄町、當麻町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、西吉野村、天川村、野迫川村、大塔村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村）
 - c. 京都府南部

京都府内の京奈和自動車道沿線の市町（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町、山城町、木津町、加茂町、笠置町、和束町、精華町、南山城町）
 - d. 和歌山県北部

和歌山県内の京奈和自動車道沿線の市町（和歌山市、橋本市、打田町、粉河町、那河町、岩出町、かつらぎ町、高野口町）
 - e. 大阪府

大阪府内の市町村（豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町、大阪市、守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四条畷市、交野市、堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村、美原町）

< 有効回答数 >

- ・ 全体で4,166人のご協力を得られ、有効回答数4,070であった（回収率約75%）
- ・ 地域別の有効回答数は、奈良市・大和郡山市1,362、その他奈良県1,430、京都府南部地域447、大阪府全域394、和歌山県北部地域437である。

< 地域別のデータの見方 >

- ・ 総数の集計結果は、抽出率の異なる地域を単純合計したものであり、抽出率の高い奈良市、大和郡山市及び京奈和自動車道沿線市町の意向を強く反映したものになっている。

< グラフの数値（%）について >

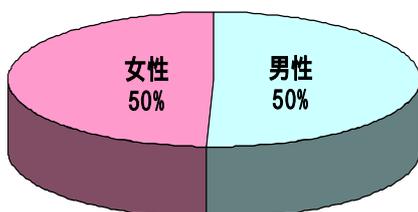
- ・ 各グラフの%の合計値は、四捨五入の関係で100%にならないものがある。

調査結果

(1) 回答者の属性

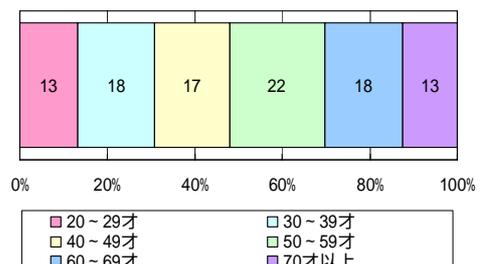
男女の割合

・ 回答者の男女の割合は、各50%となっています。



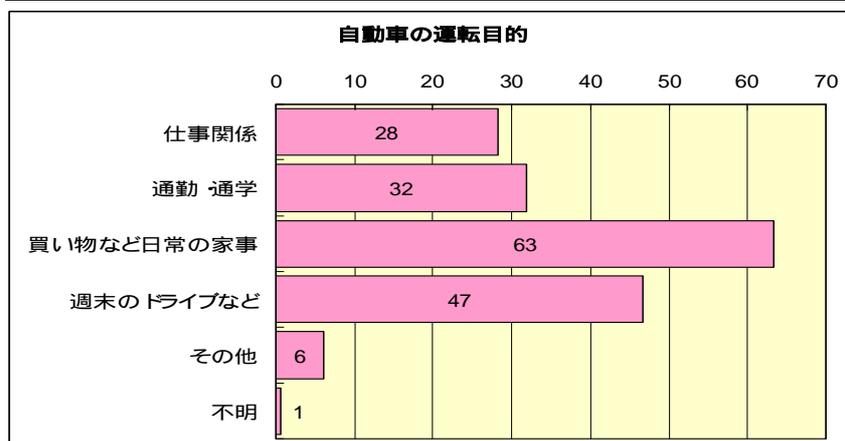
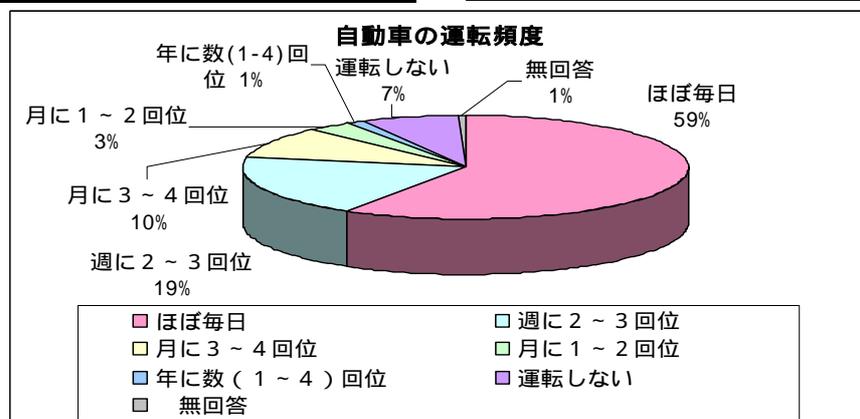
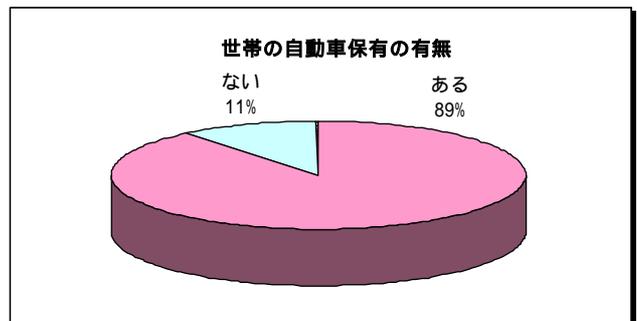
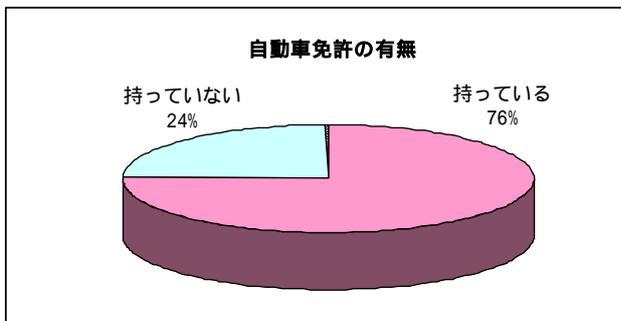
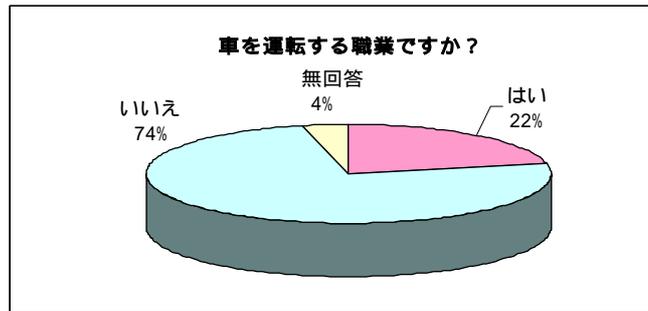
年代別の割合

・ 回答者の年齢層は、50代が22%と一番多く、20代、70才以上が各13%と相対的に低くなっています。



(2) 日常のクルマの運転について

今回の無作為抽出アンケート回答者のうち、22%の人がクルマを運転する職業に従事しており、自動車免許をもっている人の割合は76%、世帯のクルマ保有率は89%となっています。また、運転頻度は88%の人が月3～4回以上、クルマを運転しており、回答者の59%がほぼ毎日運転しています。なお、運転目的の多くは買い物など日常の家事が63%、次いで週末のドライブなどが47%となっています。



<質問1> 奈良県北部地域における道路交通事情についてお聞きします。

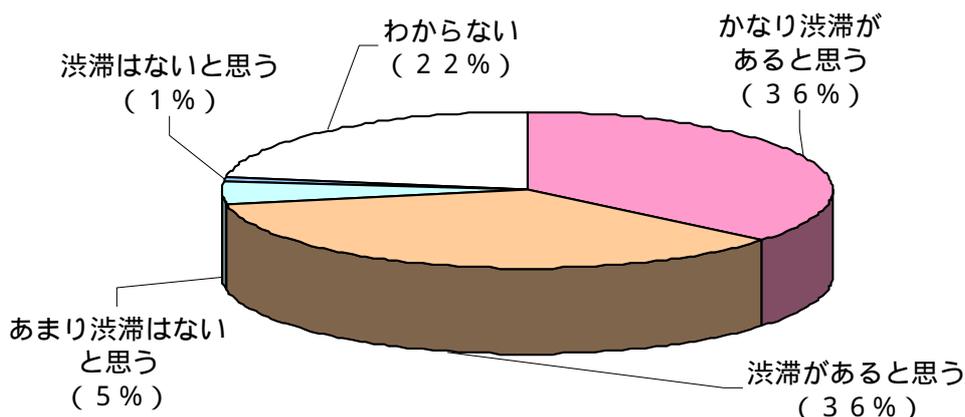
問1-1. 奈良県北部地域の道路交通に対して、普段あなたが感じていることについて、それぞれの項目毎に1つずつ選んでをつけてください。

(1) 奈良県北部地域の渋滞状況

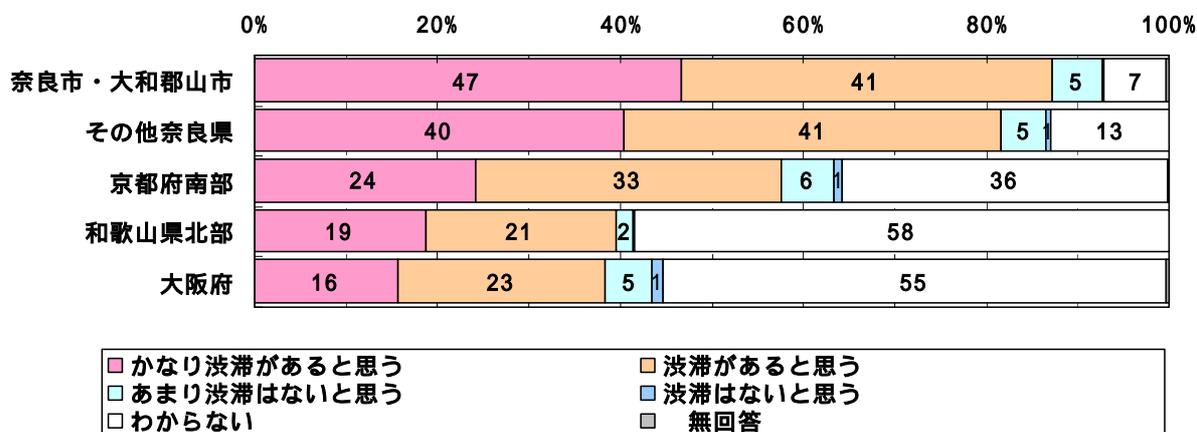
回答者の72%が奈良県北部地域の道路は渋滞がある(「かなり渋滞があると思う」「渋滞があると思う」と感じている一方、回答者の6%は渋滞はない(「渋滞はないと思う」「あまり渋滞はないと思う」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、渋滞があると感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市(88%)、及びその他奈良県(81%)で高くなっています。これに比べると、和歌山県北部(40%)、及び大阪府(39%)は低くなっています。

(1) 奈良県北部地域の渋滞状況 (総数)



(1) 奈良県北部地域の渋滞状況 (居住地別集計)

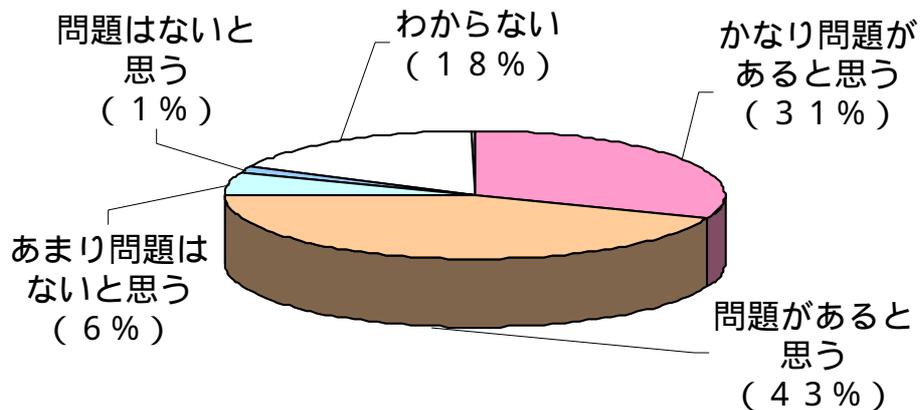


(2) 幹線道路の渋滞がひどく、住宅周辺の生活道路にまで車が入り込み、抜け道として利用されること

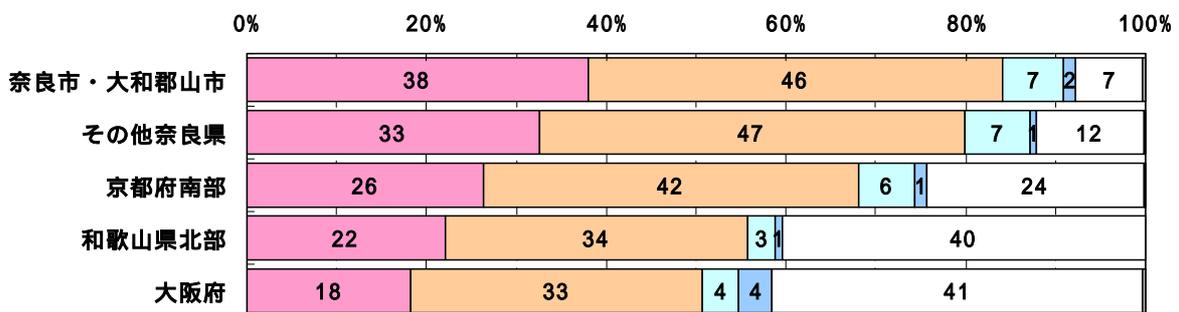
回答者の74%が幹線道路の渋滞時に生活道路を抜け道として利用されることを問題がある(「かなり問題があると思う」「問題があると思う」と感じている一方、回答者の7%は問題はない(「問題はないと思う」「あまり問題はないと思う」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、問題があると感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市(84%)、及びその他奈良県(80%)で高くなっています。これに比べると、和歌山県北部(56%)、及び大阪府(51%)は低くなっています。

(2)生活道路を抜け道として利用(総数)



(2)生活道路を抜け道として利用(居住地別集計)



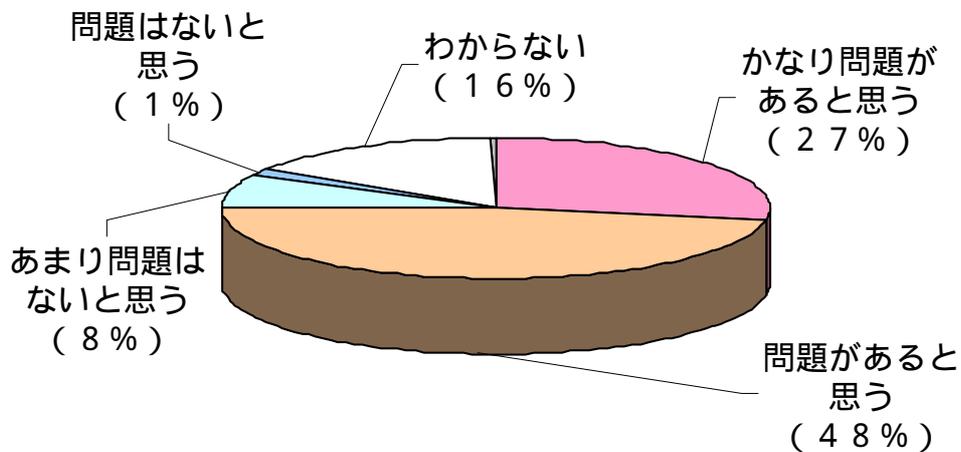
- かなり問題があると思う
- 問題があると思う
- あまり問題はないと思う
- 問題はないと思う
- わからない
- 無回答

(3) 国道や県道などの幹線道路周辺の生活環境（大気汚染、騒音など）

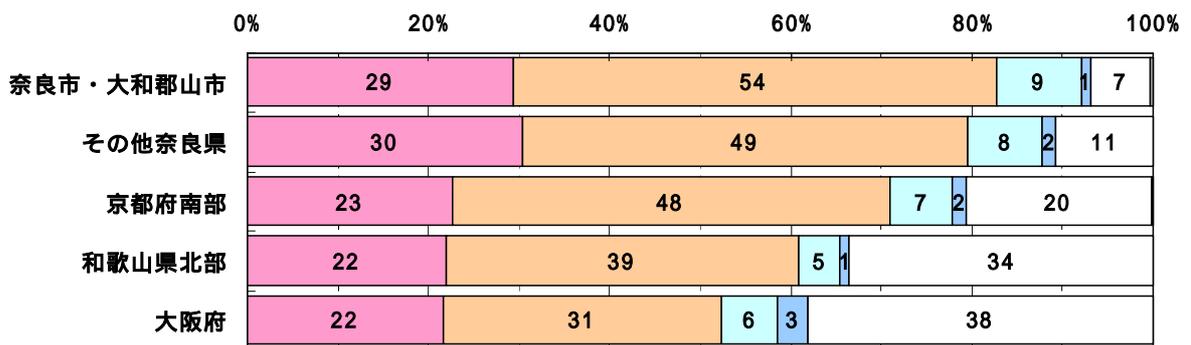
回答者の75%は、幹線道路周辺の生活環境に問題がある（「かなり問題がある」「問題がある」と感じている一方、回答者の9%は問題はない（「問題はないと思う」「あまり問題はないと思う」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、問題があると感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市（83%）、及びその他奈良県（79%）で高くなっています。これに比べると、大阪府（53%）は低くなっています。

(3) 幹線道路周辺の生活環境（総数）



(3) 幹線道路周辺の生活環境（居住地別集計）



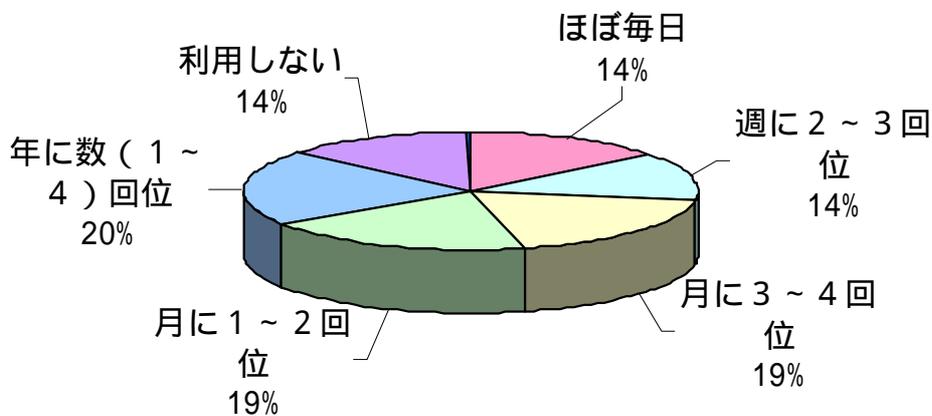
■ かなり問題があると思う ■ 問題があると思う
■ あまり問題はないと思う ■ 問題はないと思う
■ わからない ■ 無回答

問1 - 3 . あなたは、国道24号をどれくらいの頻度でご利用になりますか。
 次の中から 1つ選んで をつけてください(同乗者としての利用も含みます)。

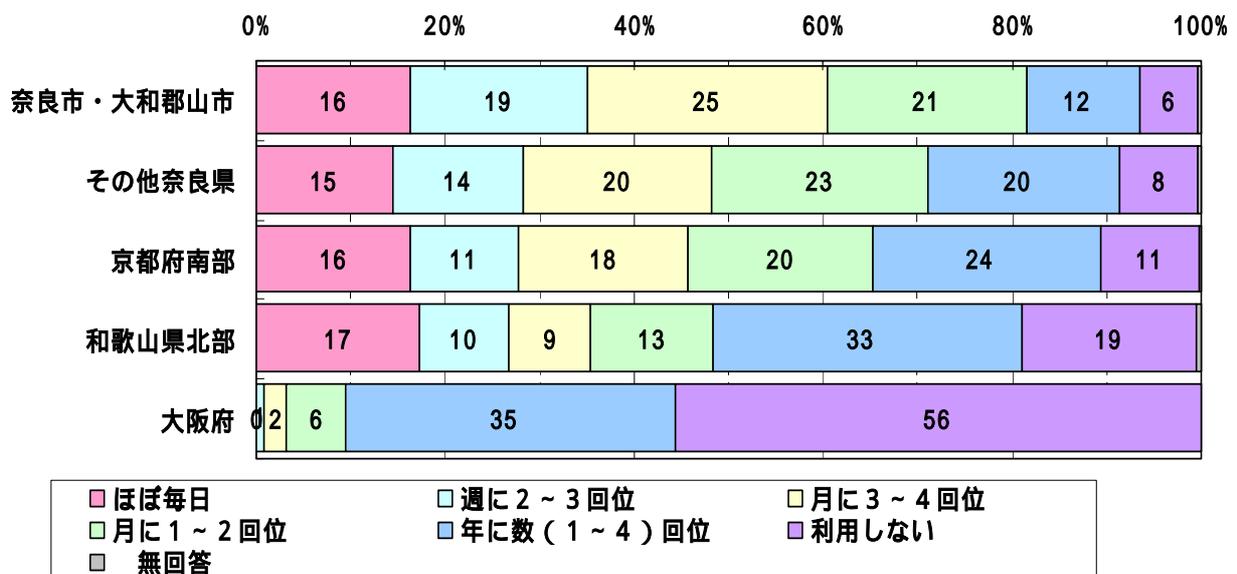
回答者の66%が国道24号を「月に1～2回位」以上利用しており、14%が「ほぼ毎日」利用している一方、14%が利用していません。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、「月に1～2回位」以上利用している人の割合が、奈良市・大和郡山市(81%)と高くなっています。これに比べると、大阪府は9%と低くなっています。

国道24号の利用頻度(総数)



国道24号の利用頻度(居住地別集計)

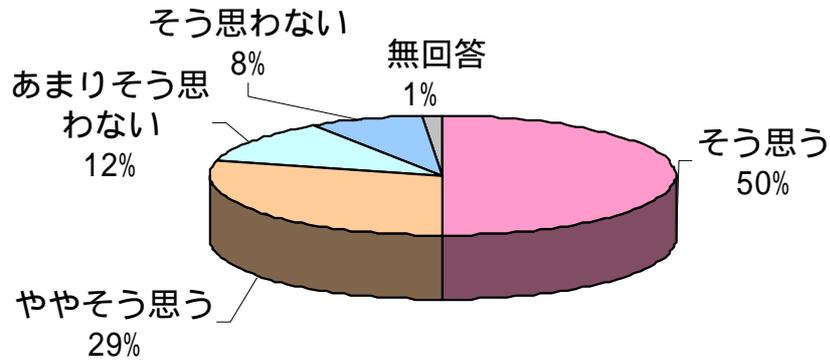


問1 - 4 . 奈良県北部地域における交通問題の対策についてお聞きします。
 現在の国道24号の交通状況からみて道路整備が必要と感じますか。
 最もよく当てはまる番号を1つ選んで をつけてください。

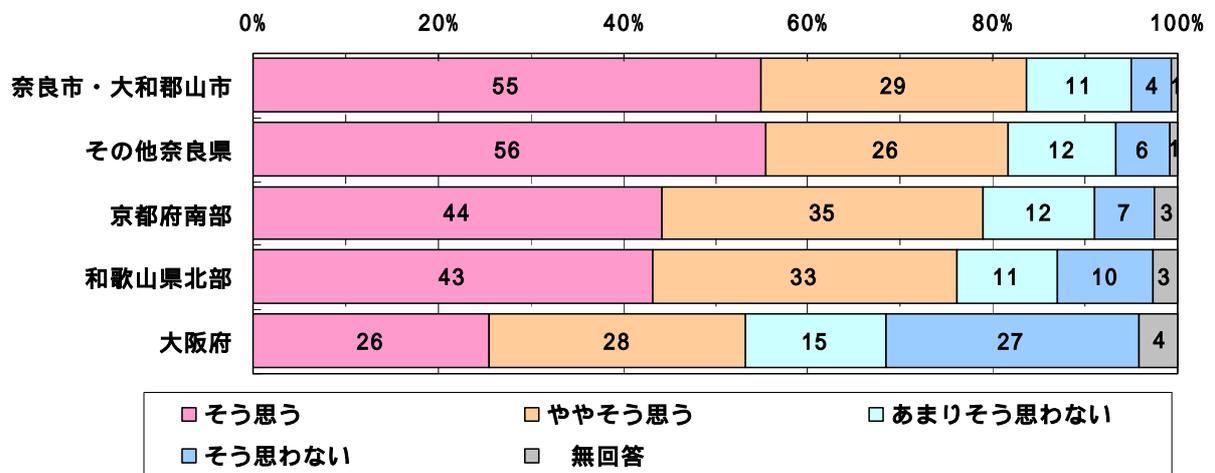
回答者の79%が、現在の国道24号の交通状況からみて奈良県北部地域の道路整備の必要性について「そう思う」「ややそう思う」と感じている一方、20%は「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、「そう思う」「ややそう思う」と感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市(84%)及びその他奈良県(82%)で高くなっています。これに比べると、大阪府は52%と低くなっています。

奈良県北部地域の道路整備の必要性（総数）



奈良県北部地域の道路整備の必要性（居住地別集計）



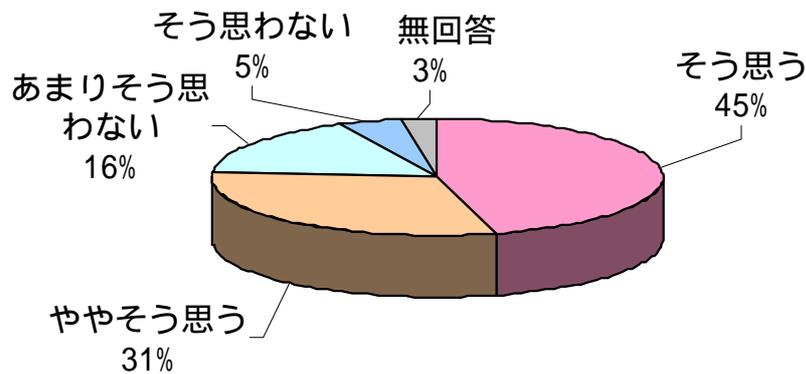
問1 - 5 .奈良県北部地域の道路をどのように整備していけばよいと思いますか。
最もよく当てはまる番号を各項目ごとに1つ選んで をつけてください。

(1) 高速道路網につながる自動車専用道路を整備すべき

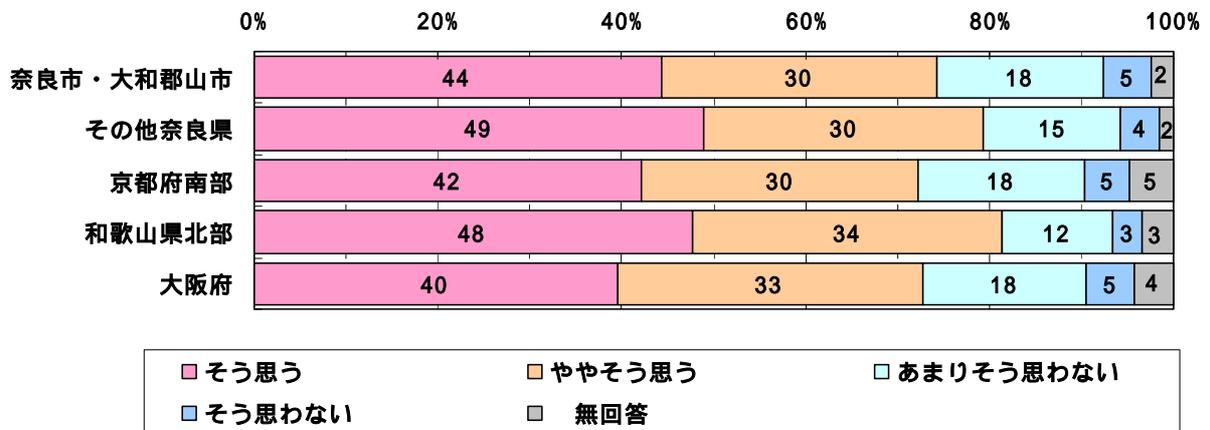
回答者の76%が、高速道路網につながる自動車専用道路の整備について「**そう思う**」「**ややそう思う**」と感じている一方、21%は「**そう思わない**」「**あまりそう思わない**」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、「**そう思う**」「**ややそう思う**」と感じている人は、各エリアとも70%以上となっており、和歌山県北部(82%)に次いで、その他奈良県(79%)となっています。

(1)自動車専用道路を整備すべき(総数)



(1)自動車専用道路を整備すべき(居住地別集計)

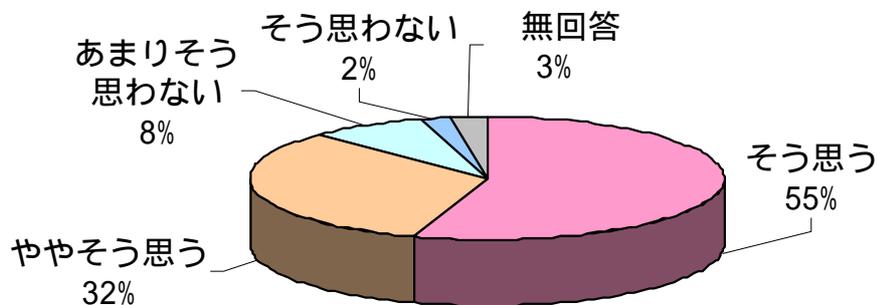


(2) 国道や県道などの幹線道路を整備すべき

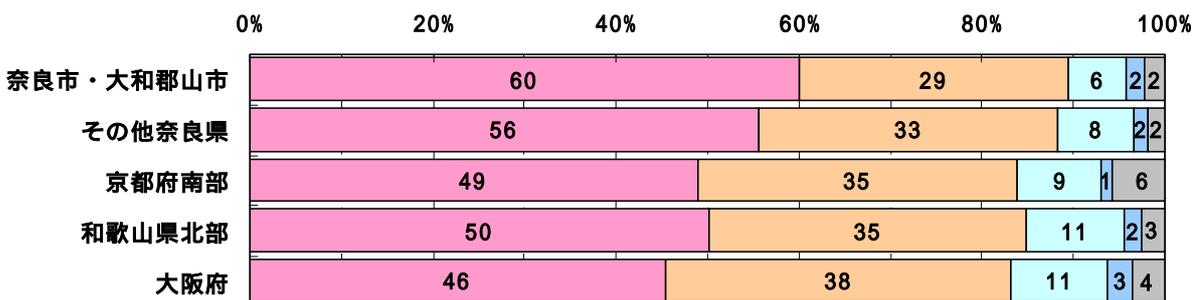
回答者の87%が、国道や県道などの幹線道路の整備について「そう思う」「ややそう思う」と感じている一方、10%は「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、すべてのエリアで「そう思う」「ややそう思う」と感じている人の割合が、80%以上と高くなっており、奈良市・大和郡山市(89%)に次いで、その他奈良県(89%)となっています。

(2) 幹線道路を整備すべき (総数)



(2) 幹線道路を整備すべき (居住地別集計)

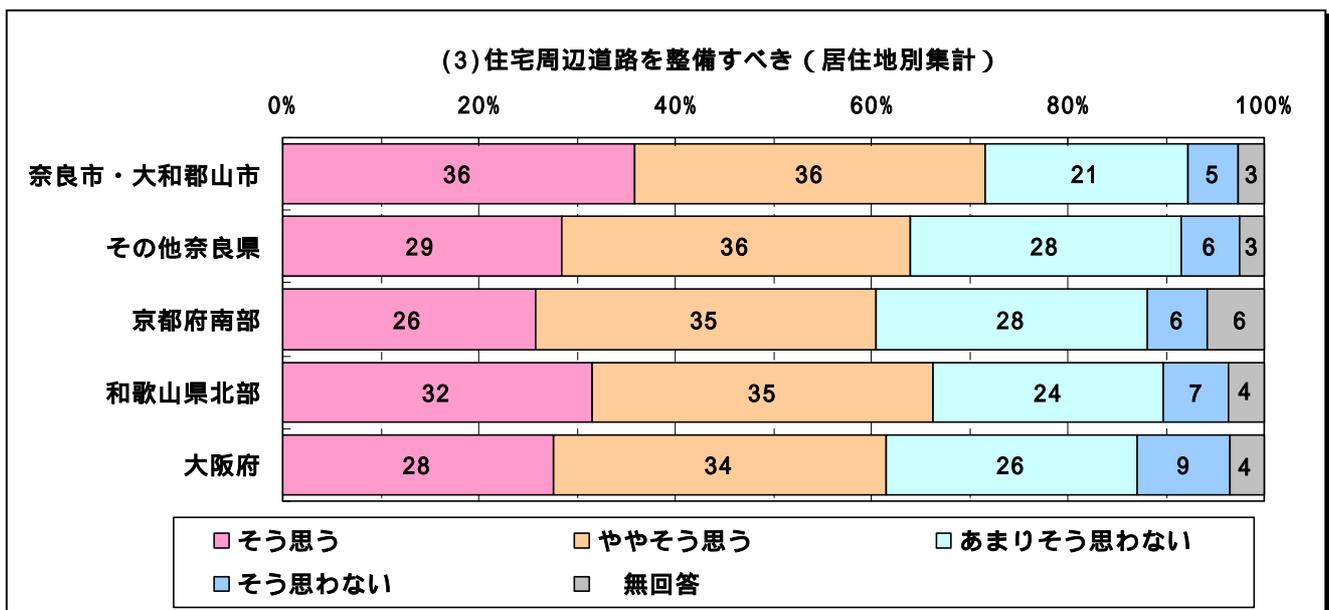
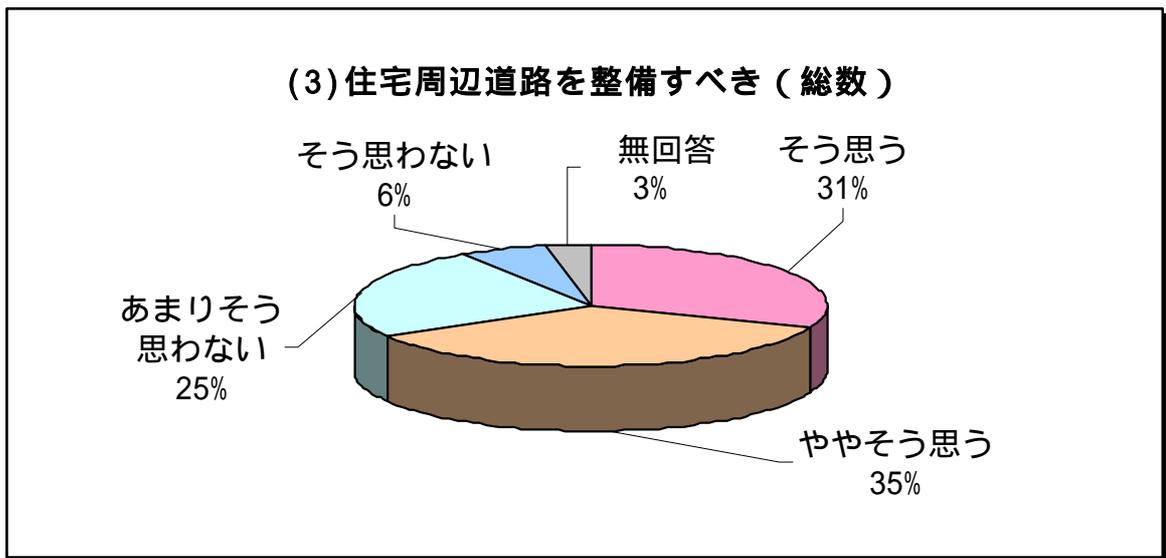


■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない
■ そう思わない ■ 無回答

(3) 住宅周辺の道路を整備すべき

回答者の66%が、住宅周辺道路を整備について「そう思う」「ややそう思う」と感じている一方、31%は「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、「そう思う」「ややそう思う」と感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市(72%)と高くなっており、次いで和歌山県北部(67%)、その他奈良県(65%)となっています。



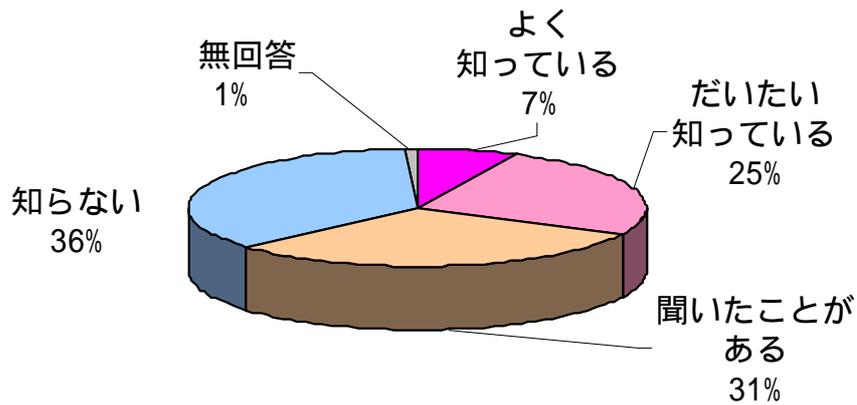
<質問2> 大和北道路を知っていますか。

問2-1. あなたは大和北道路のことをご存じでしたか。
次のうちで該当するものを選んでをつけてください。

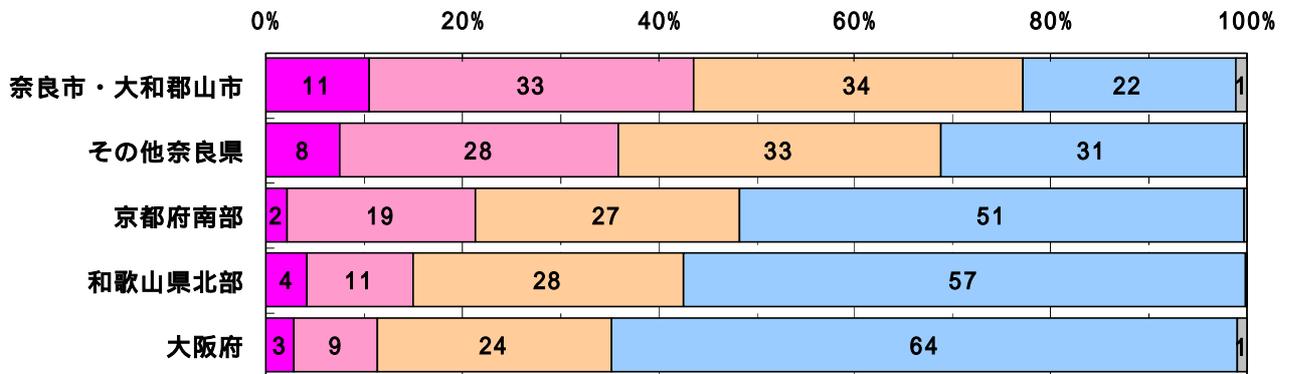
大和北道路のことをご存じでしたか、という質問について、回答者の63%が「よく知っている」「だいたい知っている」、あるいは「聞いたことがある」としている一方、36%が「知らない」と回答しています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、「よく知っている」「だいたい知っている」と回答した人の割合が、奈良市・大和郡山市（78%）で高く、次いでその他奈良県（69%）となっています。これに比べると、奈良県以外で50%以下と低くなっています。

大和北道路の認知状況（総数）



大和北道路の認知状況（居住地別集計）



■ よく知っている ■ だいたい知っている ■ 聞いたことがある
■ 知らない ■ 無回答

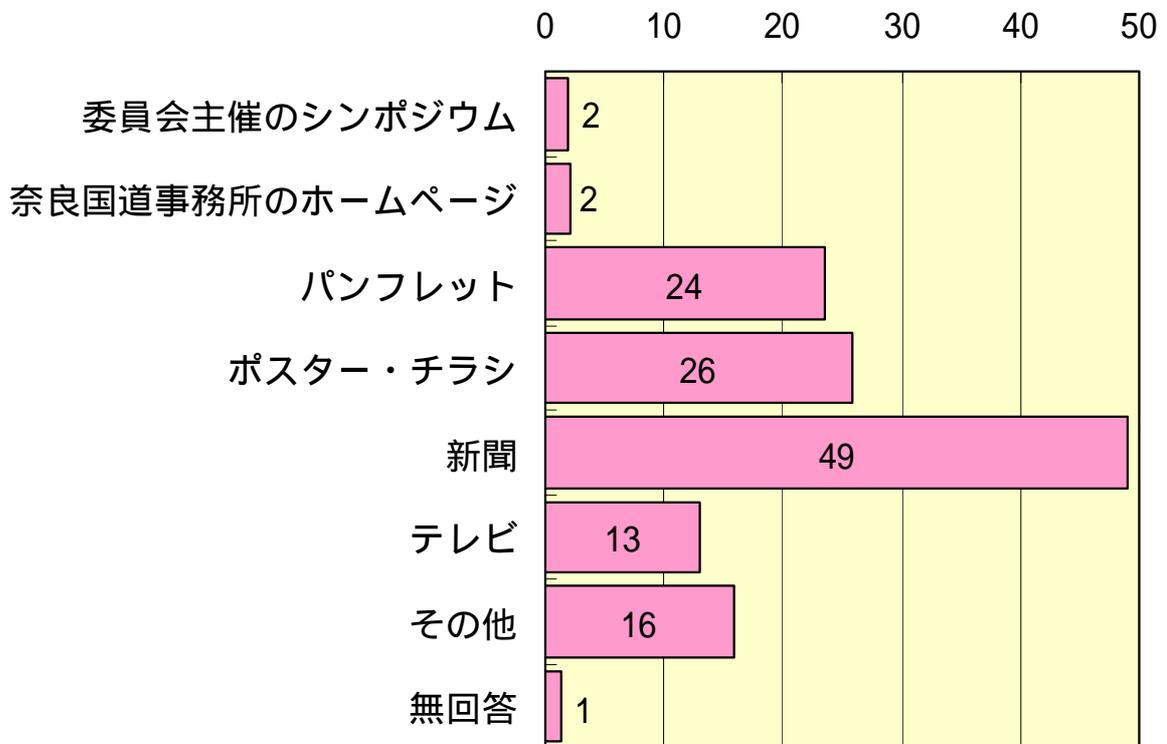
問2 - 2 . 何で「大和北道路」をお知りになりましたか。

次のうちで該当するものを選んで をつけてください。(複数回答可)

大和北道路を認知したPR媒体としては、「新聞」が49%と最も多く、次いで「ポスター・チラシ」(26%)、「パンフレット」(24%)の順となっています。

また、回答者の居住地別に集計した結果でも、各エリアとも、認知したPR媒体としては「新聞」が多く、次いでパンフレット、またはポスター・チラシとなっています。

大和北道路を認知した媒体 (総数)



大和北道路を認知した媒体 (居住地別集計)

PR媒体	奈良市・大和郡山市	その他奈良県	京都府南部	和歌山県北部	大阪府
委員会主催シンポジウム	2.5	1.8	0.5	1.6	0.7
奈良国道事務所ホームページ	1.6	2.5	3.7	2.1	1.4
パンフレット	23.8	24.4	22.9	21.9	19.6
ポスター・チラシ	26.7	29.5	18.3	16.6	18.9
新聞	52.8	47.2	50.9	49.2	30.8
テレビ	12.6	12.7	10.1	18.2	16.8
その他	14.8	15.7	16.1	16.6	24.5
無回答	1.5	1.0	1.8	1.1	2.8

注) 表内の ~ は順位を示し、上位3位までの項目については着色を行っています。

<質問3> 大和北道路について、お伺いします。

問3 - 1 .大和北道路が整備されることによって、期待される効果として、次の(1)～(10)のことが考えられます。
それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んでつけてください。

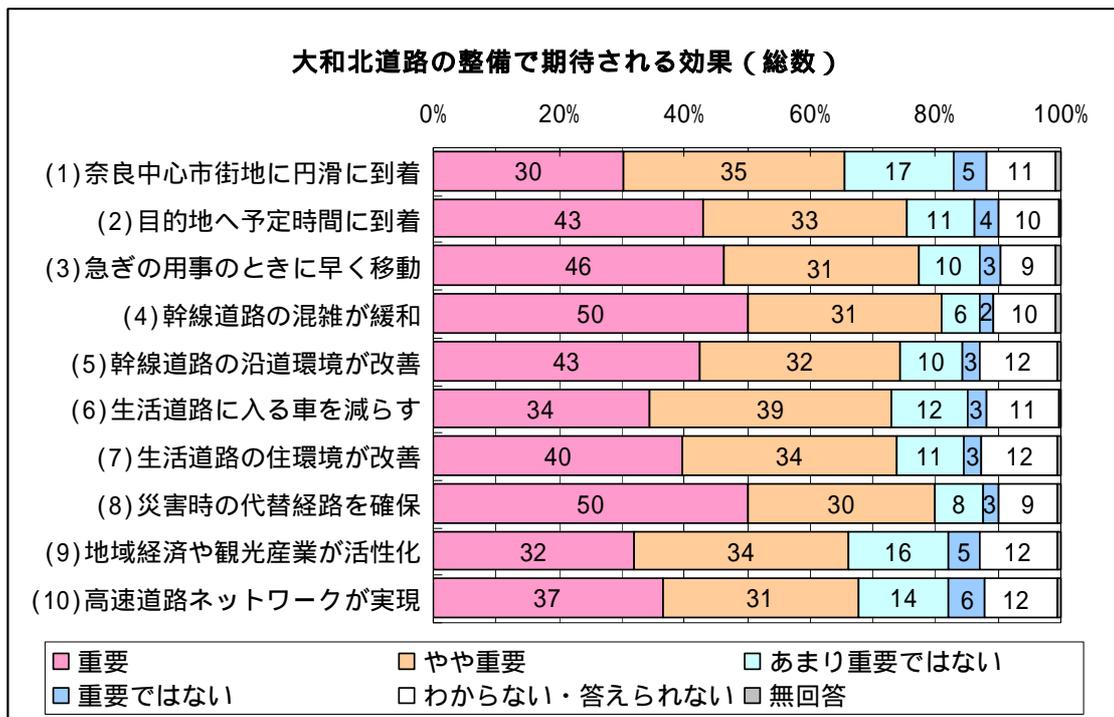
- (1) 奈良中心市街地に円滑に到着できる
- (2) 観光シーズンのようにクルマが多い時期でもスムーズに走れて、目的地へ予定時間につける
- (3) 急ぎの用事のとくに早く移動できる
- (4) 国道24号など幹線道路の混雑が緩和される
- (5) 国道24号など幹線道路の交通事故が減少し、沿道環境が改善される
- (6) 幹線道路から生活道路に入ってくる車を減らす
- (7) 住宅地内の生活道路で交通事故が減少し、住環境が改善される
- (8) 大きな事故や災害などが起きたときでも代替経路が確保できる
- (9) 道路交通を円滑にして、奈良の地域経済や観光産業が活性化される
- (10) 近畿圏全域を結ぶ広域的な高速道路ネットワークが実現する

大和北道路が整備されることによって期待される効果としては、すべての項目について、回答者の65%以上の方が「重要」「やや重要」としており、事項別に見ると、(4)幹線道路の混雑が緩和(81%)、(8)災害時に代替経路が確保(80%)、(3)急ぎの用事のとくに早く移動(77%)の順に高くなっています。

また、回答の割合の低いのは順に、(1)奈良中心市街地に円滑に到着(65%)、(9)地域経済や観光産業が活性化(66%)、(10)高速道路ネットワークが実現(68%)です。

さらに、居住地別の結果では、全エリアにおいて(4)幹線道路の混雑が緩和、(8)災害時に代替経路が確保のいずれかを「重要」「やや重要」と感じている割合が最も高くなっています。

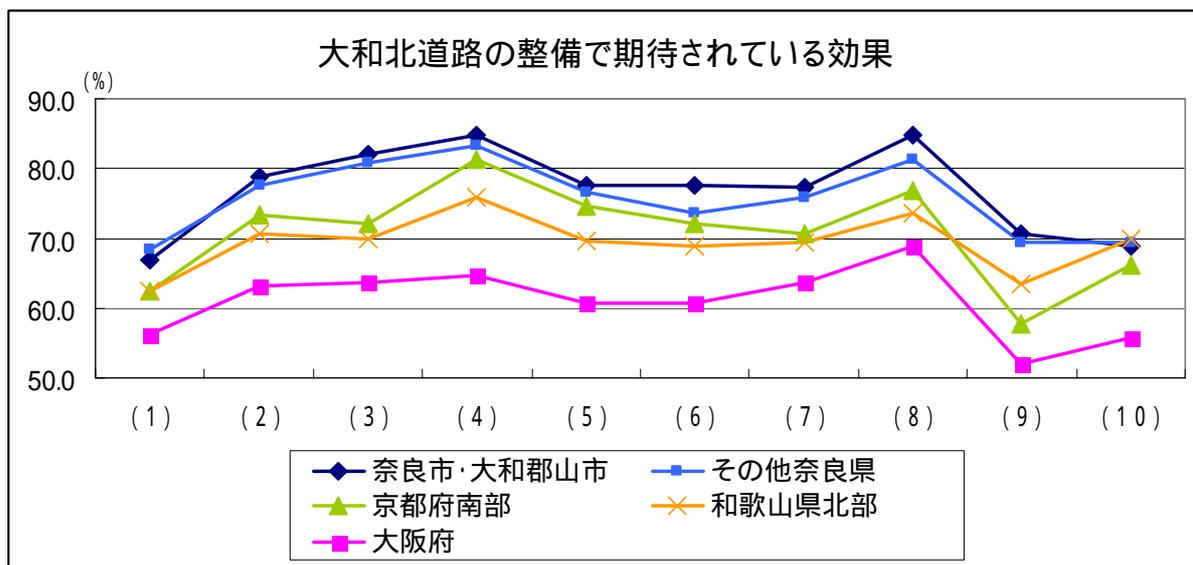
大阪府では、他のエリアに比べ、全ての項目において「重要」「やや重要」と感じている割合が最も低くなっています。



問3 - 1 大和北道路が整備されることにより期待される効果
 ~ 重要度（選択肢の「重要」「やや重要」が占める割合）によるランキング ~

期待される効果	奈良市・大和郡山市	その他奈良県	京都府南部	和歌山県北部	大阪府
(1) 奈良中心市街地に円滑に到着	66.9	68.4	62.4	62.5	56.3
(2) 目的地へ予定時間に到着	78.8	77.7	73.4	70.7	63.2
(3) 急ぎの用事のときに早く移動	82.1	80.7	72.0	70.0	63.7
(4) 幹線道路の混雑が緩和	84.7	83.4	81.4	75.8	64.7
(5) 幹線道路の沿道環境が改善	77.6	76.5	74.7	69.6	60.7
(6) 生活道路に入る車を減らす	77.5	73.6	72.2	68.9	60.6
(7) 生活道路の住環境が改善	77.3	75.8	70.5	69.4	63.7
(8) 災害時の代替経路を確保	84.8	81.2	76.8	73.7	69.0
(9) 地域経済や観光産業が活性化	70.5	69.4	57.7	63.4	52.0
(10) 高速道路ネットワークが実現	68.9	69.5	66.2	69.8	55.8

注) 表内の ~ は順位を示しています。



問3 - 2 大和北道路を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。
次の(1)～(10)のそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを
1つずつ選んで をつけてください。

- (1) 平城宮跡をはじめとする歴史文化財への影響を避け、その環境を守る
- (2) 地下水への影響をできるだけ避け、木簡などの埋蔵文化財の保全に配慮する
- (3) 平城宮跡から若草山、東大寺の眺望や、若草山からの眺望など、歴史的景観に配慮する
- (4) 春日山原始林等の豊かな自然環境を保全する
- (5) 沿道地域に対する騒音・大気汚染などの環境対策を適切に行う
- (6) 住宅地及びその周辺的生活環境を保全する
- (7) 道路をつくるために移転しなければならない建物等をできるだけ少なくする
- (8) できるだけ安い費用で道路をつくる
- (9) インターチェンジを利用する交通の沿道への影響をできるだけ少なくする
- (10) 大和北道路の整備にあわせて、国道24号など道路網全体の交通の流れを適正化する諸方策を実施する

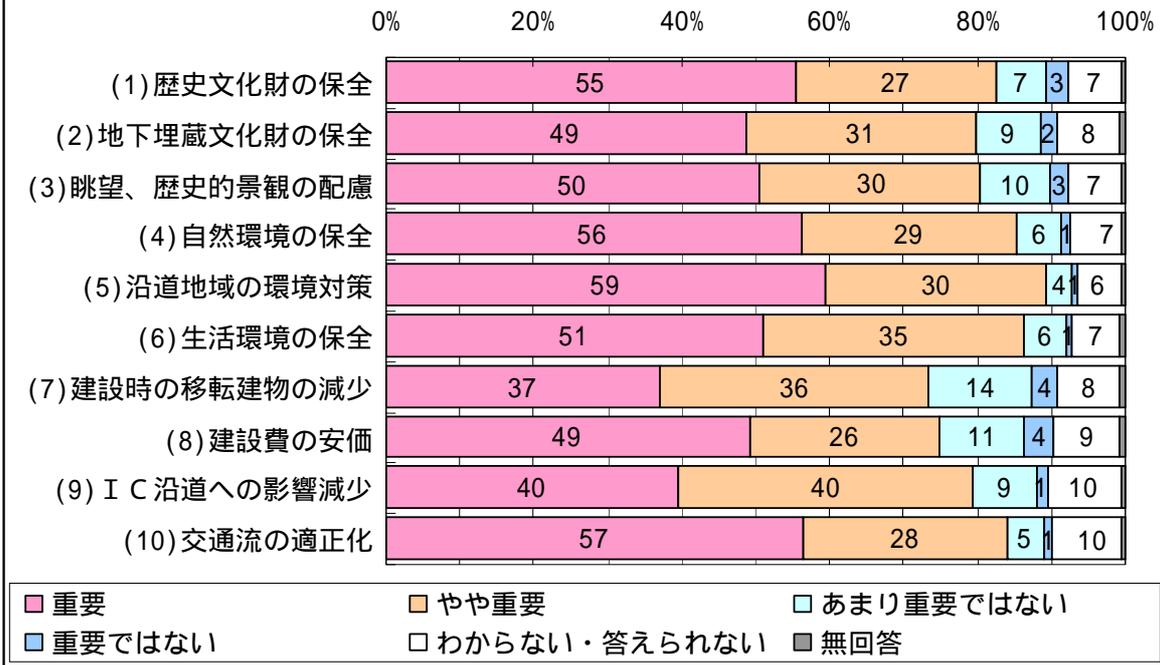
大和北道路の検討に際し、すべての項目について、回答者の70%以上が配慮すべき事項として「重要」「やや重要」としており、事項別に見ると、(5)沿道地域の環境対策(89%)、(6)生活環境の保全(86%)、(4)自然環境の保全(85%)、(10)交通流の適正化(85%)の順で高くなっています。

また、回答の割合の低いのは順に、(7)建設時の移転建物の減少(73%)、(8)建設費の安価(75%)、(2)地下埋蔵文化財の保全(80%)、(3)眺望、歴史的景観の配慮(80%)、(9)IC沿道への影響減少(80%)です。

さらに、居住地別の結果でも、大阪府を除くエリアでは、(5)沿道地域の環境対策を「重要」「やや重要」と感じている人の割合が最も高く、特に奈良県内には、90%を超えています。また、奈良市・大和郡山市では90%以上の人が(6)生活環境の保全を「重要」「やや重要」と感じています。

なお、大阪府では(4)自然環境の保全を「重要」「やや重要」と感じている人の割合が最も高くなっています。

大和北道路の検討で配慮すべき事項（総数）



問3 - 2 大和北道路を検討する際に配慮すべきこと ～ 重要度（選択肢の「重要」「やや重要」が占める割合）によるランキング～

配慮すべきこと	奈良市・大和郡山市	その他奈良県	京都府南部	和歌山県北部	大阪府
(1) 歴史文化財の保全	85.1	81.8	84.3	78.0	78.7
(2) 地下埋蔵文化財の保全	81.9	79.1	82.3	74.9	77.1
(3) 眺望、歴史的景観の配慮	82.6	79.2	81.7	77.3	77.9
(4) 自然環境の保全	87.8	84.7	87.0	80.1	81.9
(5) 沿道地域の環境対策	93.4	91.0	87.5	81.9	79.2
(6) 生活環境の保全	91.5	86.2	87.1	76.9	78.4
(7) 建設時の移転建物の減少	76.2	73.0	75.0	67.1	70.8
(8) 建設費の安価	77.1	75.5	75.1	70.5	69.0
(9) I C 沿道への影響減少	83.3	79.7	78.3	72.5	72.8
(10) 交通流の適正化	88.4	85.2	83.4	79.6	71.5

注) 表内の ~ は順位を示しています。

